

2022

秋



### 元災害救助犬 夢之丞

殺処分されるところを救い出され、人の命を救う災害救助犬として活躍した元野犬の「夢之丞」。「日本のワンコの殺処分ゼロ」を目指し、新しい取り組みにチャレンジを続けています。



スタッフと遊ぶ夢之丞



保護当時の様子



ゆめのすけ

夢之丞からみなさんへ ～感謝をこめて～

みなさん、こんにちは!お元気ですか。夢之丞だよ。  
いつも応援してくれて、本当にありがとうございます。

オイラがピースワンコに来てから12年、これまで7,000頭の仲間たちを救うことができました。ここで暮らす“保護犬”たちはいろいろな過去があるけれど、スタッフさんたちのケアで少しずつ傷を癒して、家族に迎えてくれる人を待っているんだ。こんな大きなお仕事ができるのも支援してくれるみなさんのおかげです。心から感謝します。

でもまだ日本中で助けを求めている仲間たちがいます。応援して下さるみなさんと一緒に前に向かって一步一步、オイラは頑張る。これからもよろしくお願いします。

夢之丞より



## 殺処分の現状

2020年には全国で4,000頭以上の犬たちが処分され、灰になりました。その多くは二酸化炭素による窒息死です。譲渡に向かない気性難、難病の子たちが対象です。



## 引き出し

譲渡が難しい野犬のワンコを中心に、飼育放棄された高齢、病気の子も引き出しています。毎月、大怪我を負って手術が必要なワンコや大きな病を抱えているワンコ、妊娠している母犬もやってきます。



## 保護活動

“ボロボロ”の犬たちが、体をきれいにされて医療処置を受け、住む場所と食べ物を与えられ、人を信頼し始めた時、表情に安心感が表れます。一頭一頭が大切な存在です。



## 譲渡へ

保護犬の存在を多くの方が知ってくださることで、日本の動物福祉の考え方が変わり、生き物も人も、その命の存在を尊重し合える未来が実現できることを願って、これからも活動を続けてまいります。